

2019年11月8日

各位

会社名 日産化学株式会社  
 代表者名 取締役社長 木下 小次郎  
 (コード番号 4021 東証第1部)  
 問い合わせ先 理事財務部副部長 有田 信浩  
 (TEL 03-4463-8404)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2019年5月15日発表)	210,500	38,700	40,200	30,200	205円83銭
今回発表予想 (B)	209,000	38,600	39,700	30,600	208円92銭
増減額 (B-A)	△1,500	△100	△500	400	—
増減率 (%)	△0.7%	△0.3%	△1.2%	1.3%	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	204,896	37,091	39,098	29,372	197円67銭

(2) 2020年3月期 通期部門別連結売上高および営業利益予想数値の修正 (単位：億円)

		前回発表予想	今回発表予想	増減
売上高	化学品	390	373	△17
	機能性材料	643	635	△8
	農業化学品	642	643	1
	医薬品	70	70	—
	卸売	678	671	△7
	その他	233	224	△9
	調整額	△551	△526	25
	計	2,105	2,090	△15
営業利益	化学品	40	34	△6
	機能性材料	150	151	1
	農業化学品	190	196	6
	医薬品	10	11	1
	卸売	20	21	1
	その他	6	6	—
	調整額	△29	△33	△4
	計	387	386	△1

(3) 修正の理由

通期の業績予想につきまして、上半期の実績および下半期の見通しを踏まえ、前回発表予想を修正いたします。売上高、営業利益、経常利益につきましては、ディスプレイ材料製品や新規殺虫剤の出荷などは堅調に推移する見通しであるものの、主に化学品事業の製品販売が、アジア市況低迷の影響を受けて落ち込む見通しであることから、前回発表予想値を下回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の修正に加え、上半期に特別損益が発生したことを踏まえて、予想値を修正しております。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上